

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名		泉南市子ども総合支援センター				
		公表日 令和8年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境制・整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2		・療育で使用している物を学校生活で活用してもらえるよう持参したことがある。	・個々の発達段階に応じた教材や支援グッズの案を提供していきたいと思ひます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		・非常勤勤務の職員もいるので他の職員と連携しながら訪問の日程調整等を行っています。	・業務の充実を図れるよう訪問担当者のスキルを他職員にも伝達していきたいと思ひます。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		・必要に応じて担当以外の職員が参画し、話し合い改善できることを目指しています。	・今後も担当だけでなく、児童発達管理責任者をはじめ相談員、訓練士等、さまざまな職種の視点での意見を集め、話し合いを行っています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・保護者からの意見はすぐ共有し、対応について考えられるようにしている。	・保護者の方の意見等をすぐに共有できるようにしています。今後も送迎時や懇談時、アンケート等を活用し業務に活かしていきたいと思ひます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・ケース会議等により場を設け改善に取り組んでいます。	・職員がより活発に話し合えるような形を考え業務に活かしたり、業務改善に努めてまいります。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	・外部評価ではないが、訪問支援担当者以外の職員に相談し、客観的な視点や評価を聞ける機会を作っています。	・保護者の方からの苦情に迅速に対応できるよう心掛けていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		・子どもや保護者支援の研修と今年度はきょうだいの研修を受けあらたな気付きがあった。	・今後も職員のスキルアップや資質向上のための研修を企画し実施していきたいと思ひます。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		・聞きとり用紙を基に、子どもの様子、保護者の思いを十分に聞き取り計画を立てている。	・個々の状況を確認し、子ども達の意思や保護者の方のニーズにそった計画が作成できるよう、今後も職員間で確認し合い、共通理解に努めます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		・子どもの支援を行っていく上で目標と子どもの状態(様子)にずれがないか必ず確認している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		・訪問のスタートの時に訪問先の担任に保育所等訪問支援としてどう支援の目標を立てているのか共有を行っている。又、担任の意向、支援の仕方も計画に入れ、年度終りには計画に基づき共に振り返るようにしている。	・今後も訪問先施設担当職員の先生方や職員間で話し合いの時間を大事にし、評価立案を行っています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		・見直しや改善する必要があると思うが、標準化されたツールを使った後、振り返りを行った。	・心理士・発達相談員・訓練士等、多職種連携を更に密に行い、支援につなげていきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		・ガイドラインをふまえ、訪問へ行き支援の方法の検討、共有など行っている。	・今後もガイドラインをふまえながら、具体的な支援内容の検討を行っています。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・訪問日の振り返りや話し合い等にて個々に応じた支援方法等を必要に応じて専門職も入り、様々な職員で確認しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1	・子どもの困り感、保護者の思い、学校での様子など共有した上で訪問へ行き、支援について検討したり、連携する際の確認をしている。	・今後も支援について事前確認や振り返りを行っています。また話し合いに参加できなかった職員には後日報告し、しっかりと共有していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		・気になる所や支援の内容、今後の支援に向けて話をするようにしている。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		・学校の先生の思いや、支援に取り入れていることをしっかりと聞きとりその上で一緒に考えていけるように心掛けている。	・担当の先生方の思いや考えをしっかりと聞き取り子どもの支援のために努めていきたいと思ひます。	

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		・記録は残し、次の訪問につなげている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		・面談を行い、子どもの成長と共に支援の方法もかわったり、継続していく必要があることは必ず確認している。	・今後もさまざまな職員の見点から、子どもの様子や支援について振り返りを行い、次回に向けて支援内容や計画を検討していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		・児発、主任、担当者等子どもに関わる職員が参画しています。必要に応じて相談員も参画しています。	・担当者だけでなく、関係する職員で情報共有を常に行い今後も関係する職員も参画できるように努めてまいります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		・連携が必要なことがあれば、保護者の方を通じて情報を聞いたり、連絡をしています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	1	・保護者の方と共に引継ぎに必要な支援内容を確認しています。	・保護者の方や関係機関と支援について情報共有を行うことに努めていきたいと思ます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1	・支援の内容、子どもの様子によって心理師やOTの先生、相談員に助言をもらっている。	・今後も様々な研修案内等を周知したり、専門職員と連携を取り、助言等をもらい支援につなげられるように努めていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		2	・参加はしていないが、報告を受け情報共有を行っている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		・訪問後に必ず面談で発達の段階・成長・課題・必要な支援を共有している。	・必要に応じて面談の時間を設けていきます。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		・学校の先生と相談し、家庭の状況をふまえた上で取り入れられることを保護者に提案する場合もある。取り入れられずとも、こんな関わり方、見方があるよという情報の提供を行っている。 ・情報提供は行っているが、参加率が低いと感じている。	・保護者の方のニーズを聞き取り、参加しやすい学習会の内容を企画していきたいと思ます。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		・運営規定、重要事項説明書、契約書について契約前に読み上げながら説明を行っています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		・訪問スタート時には必ず行っている。必要に応じてパンフレットを渡し伝えている。	・事業の趣旨や訪問支援の目的等についてより丁寧に今後も十分な説明を行っていきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		・面談時に子ども自身も一緒に来てもらい様子をみながら色々な子どもの思いを引き出し聞いている。また、保護者の方からも十分な聞き取りをし、思いを聞くようにしている。	・今後も引き続き丁寧な説明や、子ども、保護者の思いの聞き取りをしっかりと行っていきます。また、計画についても丁寧な説明に努めていきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		・計画については、必ず共有し、同意のもと支援・訪問をスタートさせている。また、年に3回の面談を行う中で説明を行い、保護者の方と計画の内容を共通理解しています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		・必要に応じて面談をしている。	・面談や電話相談等、継続して行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		2	・保護者学習会にて保育所等訪問やリバースクールやNEST、NEST2利用の保護者の方や一般の方とも交流していただけるように勉強会やリラクゼーション講座等いろんなテーマを企画しています。 ・きょうだい同士で交流する場としては、現在の時点では設けてはいませんが、保護者学習会のきょうだい保育を行っています。	・保護者学習会に案内をしているが参加は少ないので、今後、テーマの検討や学習会の持ち方の検討を工夫していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		・苦情の窓口・担当者を設け、苦情や相談等あった際にセンター内ですぐに検討し、対応に努めています。また、子どもの困り感、保護者のニーズに迅速に対応できるよう心掛けている。	・ご家庭での困りごとやご相談等について共通理解を行いながら一緒に考えていき、迅速に対応していけるよう努めます。
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		・ICTシステムコドモン配信を活用し、仕事等で電話連絡で連絡がとりにくい人にも携帯で確認できるようにしています。	・今後も引き続きICTシステムコドモン配信を活用していきます。	

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・個人情報の取り扱いには十分に注意し、個人情報が含まれる書類は鍵付きのロッカーで保管しています。情報共有する際にも注意するように職員に周知しています。また関係機関との情報共有には保護者の方の同意を必ずいただき細心の注意を払っています。	・今後も個人情報の取り扱いには十分注意するよう、定期的に職員周知を行っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		・一人一人の子どもの特性等を把握し、環境や時間の構造化を行い、視覚支援を用いて分かりやすい関りを行っています。また外国籍の子どもや保護者の方には絵やイラスト等視覚支援や書類にはレビうちをしたり、懇談等では他機関と協力し、翻訳や通訳を利用し意思疎通を図っています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		・訪問先施設での困り感がある際には対応できるよう、児発や相談員等と共有し対策を考えています。また、必要に応じて訪問して子どもの様子をみたくて支援の方法を一緒に考えていけるようにしています。	・保護者の方の思いや訪問先担当の先生方の考えをしっかりと聞き取り子どもの支援のために努めています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		・日程や時間の調整をし、行っています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		・必ず面談し報告を行っています。また、共有する際には前回の訪問時からの成長を中心に課題と思われる内容も伝えています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・個人情報の取り扱いには十分に注意し、共有が必要と思われる情報は必ず、事前に保護者の方の同意のもと、訪問先施設等と情報の共有を行っています。	・今後も個人情報の取り扱いには十分注意するよう、定期的に職員周知を行っています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		・訪問先での支援を尊重し、一緒に考えていけるような対応を心掛けています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1	・非常時の対応について、業務継続計画（BCP）や各種マニュアル等の策定をし、閲覧できるよう展示しています。職員研修として共有し、確認しています。毎月の避難訓練においては、火事、地震、不審者対応等様々な場面を想定して行っています。実施する際に保護者の方がいた場合には参加してもらったり、マニュアルに基づいて訓練時には事前に連絡をし、参加協力をお願いしています。実施した後は貼り紙をし周知しています。	・訓練や研修内容を工夫し様々な想定で実施したいと思います。また家族への周知が不十分だと感じていますので、ICTシステム（コードモニアアプリ）や貼り紙などにより、周知の徹底を行います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		・（訪問先の）学校の策定に従って行っています。また、センターにおいては、安全計画を作成し研修や訓練を行っています。また危険な箇所・物はないか所内を点検しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		・訪問先でのヒヤリハット事象があった場合は訪問先と共有し対応策を講じ、職員間で報告・共有しています。 ・ヒヤリハットが自身の失敗の報告書でなく、危険を共有するためのものとして位置づけし、事実や再発防止策も共有しています。	・それぞれの職員が自身の課題として捉え、再発しないように意識を高めています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		・障害者児の虐待防止に向け委員会を設置し、研修等を行い知識を高め、自身の関わりをチェックシートを利用して振り返りを行っています。	・今後も職員間で虐待に関する意識づけを行っています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		・身体拘束につながる場面が少なく感じているが、改めて今後しっかりと説明をしたいと思っています。	・今後も身体拘束をせずに支援を行うための子ども達への支援や工夫をしっかりと職員間で話し合い、取り組んでいきます。